

「'82 沖縄の夏」展

若い世代の作家の十点展示

画廊匠

作家が作品を持ち寄り、十点余の作品を展示している「写真」。

総じてポップでスマートな作品、しかしどこかうつろな雰囲気漂う。あえて「'82」という数字を使ったこの展覧会、復帰後十年という節目もあり、そこには象徴的な意味が含まれているようだ。

「'82 沖縄の夏」展（1日〜20日、画廊匠）今回は「匠盛博、屋良朝彦の若い世代のアートニュース」に各個展の論評を書いている翁長直樹さん

